

龍雲寺 花園会報

二十十年お正月号

編集 龍川慶一
編集 龍川慶子

ホームページ URL <http://ryuonji.com/>
 URL <http://homecast.ne.jp/ryuonji/>

〒154-0001
 東京都世田谷区野沢三三八-1

TEL 03-3421-0138
 FAX 03-3421-8963

「あいさし」

住職 龍川 景一

皆様方には平成二十二年の新年を恭しくお迎えの事と存じます。中には「不幸等悲しい思いをされている方もあります。少しでも早く悲しみを克服して、体調に気を付けて生活して頂きたいと祈っています。

今年はお寅年です。虎は動物の中でも威風堂々の風貌です。しかし、獅子(ライオン)は百獣の王と云いますが虎は云いません。ところが、中国では百獣の王と云うそうです。

「雷は龍に従い、風は虎に従う」とあり、古より神秘的動物の一つに数えられていたようです。また、獅子は生れて三日で谷道に突き落とされ、はい上がれない者はそのまま殺されるそうです。虎も同じように、「生れて

三日、牛を食うの氣あり」といい、若しその氣もなくつかみ食らうことのできない者は、武をおとす者として、殺に殺されるそうです。

語はかわりますが、子供のころは、「もういくつ寝るとお正月」と指折り数えて待っていてもなかなかやつて来ない。しかし、古きを迎える年になると一日、いや一年なんてアアと云う間に過ぎ去っています。その時の自分の年齢を時速に換えたスピードで一年を走り去るというのです。六十年前は十キロそこそこで走っていたのに、ところが今や時速七十キロ近い制限速度オーバード一年を突っ走っている事になるのだそうです。

必に、光陰矢の如く、無常迅速、時人を得たず。今年も氣が付けば大晦日です。

大般若会 於龍雲寺本堂

一月七日(水) 十一時〜御談話奉読
 十一月廿一日(土) 正午〜法座 法要後昼食
 お申し込み不要 会費一家庭三千元

行事予定

- 1月7日(水) 大般若会
- 2月7日(日) 方丈さんの慰労会
- 2月8日(月) 開山忌(寺院のみ)
- 2月17日(水) 19日(金) 二泊三日 九州妙心寺願と山形院上の講
- 3月8日(月) 11日(木) 三泊四日 第六次西国八十八ヶ所巡拝 春季彼岸会法要
- 5月24日(日) 26日(火) 二泊三日 第一回奥州名刹巡拝
- 6月(未定) 三峰権名講
- 7月6日(水) 七夕の茶会
- 13日(水) お盆の權社
- 17日(日) 施餓鬼会法要
- 30日(木) 8月1日(日) 於龍雲寺駐車場(龍雲寺本堂)盆踊り大会
- 8月15日(日) 17日(火) 二泊三日 妙心寺お精進送りと五山送り火 秋季彼岸会法要
- 9月23日(水) 30日(火) 二泊三日 第六次西国八十八箇所巡拝 第七回又満数字ヴァイオリン・コンサート(於龍雲寺本堂)
- 10月2日(土) 18日(日) 20日(火) 二泊三日 奥州名刹巡礼の旅
- 11月16日(水) 17日(木) 一泊二日 全国奉談大会(名古屋)

募集中!!

○妙心寺講と由布院土の湯の旅

二月十七日(例)〜十九日(例) 二泊三日
会費十萬二千円

龍雲寺集合・解散 羽田空港集合可

新しく出来た九州国立博物館で開催される妙心寺展は九州・沖縄で花開いた多彩な神文化の名宝を展示します。

有名な玉の湯さんでは厳選された旬の食材を使った美味しく体に良い食事と温泉と温泉気をお楽しみ下さい。離れになつていきますので、ご夫妻等二名一室も可能です。

○第六次第一回四国八十八力所巡拝

三月八日(例)〜十一日(例) 三泊四日

会費十万円(納経料と拝観料は別途)

一徳堂山寺より二十九番箇所まで、住職が

初参加します。龍雲寺集合、解散、羽田集合可。バス、タクシー、ロープウェイ等を使って巡拝、説明会有り、輪廻紙、経本、白衣はお寺より運送 三月と九月の計二年

四回で結願、高野山へも巡拝します。

○第一回奥州名刹巡礼の旅

五月二十四日(例)〜二十六日(例) 二泊三日
会費六万三千元(納経料・拝観料は別途)

龍雲寺からバスで札幌だけでなく名刹も拝観します。今回は松島瑞鳳寺(妙心寺派)をスタート地点とします。

○第六回妙心寺と五山送り火の旅

八月十五日(例)〜十七日(例) 二泊三日
会費七万二千元 龍雲寺集合・解散、新橋

浜海新幹線の駅、現地集合可

妙心寺でのお講堂送り、阿じろさんの五山送り火の講堂料理(メシユタン屋一つ)妙心寺花園会館の屋上から送り火を拝めるので観れます。ツイン・ベッドでバス、トイレ付、シングル・ルームも大浴場も有り、深い温泉の川床料理や亭々、友誼始めのTシャツ作り等毎年趣向をこらしています。

いずれも定員になり次第〆切りますのでお早めに、お一人様でも安心してご参加下さい。何でも直接お寺にお訪ね下さい。

旅行に参加される方は第二と第三の駐車場にお入れ下さい。

平成二十二年十一月二十二日

龍雲寺 朝川要子 様

小浜市 池田 欣一

西国巡礼隊長さんとしてご苦労さまでした。ご招待有難うございました。

参加なされた皆様、命蓮の心が通じ合い楽しい夕食会でした。若狭にはこんな豊かな心土をもった集団は拝見しません。龍雲寺講家の皆さんに敬意を捧げます。

教えられたこと

住職さん、寺職さんは大変なお仕事、青蓮寺の年中行事・仏事等々を通じ檀家の皆様方に「豊かな心土作り」の命蓮があり大変なお仕事、二十二世紀の人類のためにも役員もこの命蓮に取り組まなければならぬ。

寺院様に感謝

愚僧にはご主人様の「妙心寺宗務総長」華身赴任にも拘わらず、檀家の皆さん方を此迄までお育てに成られたことに感謝しています。ご参加された皆様方に宜しくお伝え下さい。

願同ご夫妻始めご参加された皆様方のご健康とご発展を心からお祈り申し上げます。

合筆

※小浜市の元教育長、放牧園園で法座中。

妙心寺派の寺院の総代さんです。

御奇贈の品々

- 藤田様より 古白石筆「四鳥の図」
- 高島様より 美谷等接筆屏風一隻

- 森様より 香炉台二個 等
- 松島様より 和木唐櫃二個
- 小宮山様より 木製鏡青用刺繍付き徳引
- 鈴木様より 木製の筆
- 松尾様より 般若心経お写紙(金文字)

※お寺の什物として記載後大切に致します。
ありがとうございます。

龍雲寺花園会主催法話会 無料

- 二月二十日(土)午後一時～四時 於龍雲寺本堂
- 河野文通老師(龍雲寺大徳林堂師範)

■正眼短期大学東京セミナー 5000円

- 二月二十一日(土)午後一時～四時於龍雲寺本堂
- 山川宗文老師(龍雲寺師範) 正眼短期大

龍雲寺蓮華講(二二ユーローク種宣持會)

お問い合わせ先

○龍雲宗妙心寺派東京真神センター

- 〒田谷区野崎二二三八一(龍雲寺本堂内)
- TEL 〇三―五七九―二八〇〇
- FAX 〇三―五七九―二八〇一
- メールアドレス:zenonryushin@ncc.jp
- http://www.ryushin-zenon.jp/

早朝洗心坐禅会

毎日曜日 朝六時半～八時半 会費 無料

写経会

毎月第二土曜日 一時～四時
(但し、七月、八月はお休み)

龍雲寺厚木墓地の二室案内

閉経寺厚木内に龍雲寺種徳用の墓地を造成しました。龍雲寺種徳としてお付き合いをさせていただきます。

- A (一五〇×一五〇) 永代使用料百二五万円
- B (一五〇×一四〇) 永代使用料百一四万円
- A,Bとも納骨槽、塔婆立、葬石等の外構工事費を含みます。

このままで直ちに納骨できます。右記の金額を直接お寺にお納め下さい。詳細につきましては龍雲寺まで。

納骨堂

(お通骨一時預り 無料)

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、料金は先がわからない方が、ご不幸があつてあつてお葬りする時間を持って下さるよう、落ち着いて考える時間を持つて下さるよう、という考えで十数年前に納骨堂を本堂の裏面に建てました。

いつでもお参りの方がいらしています。

法要後のお食事について

南無亭や書院でこの法要のお食事に利用される方が増えています。タクシー代や移動時間の節約、遠方から来ていただいたり、又、お食事会場までの移動が……と思えますが、南無亭や書院は、広くてきれいだからでしょうか。イスの席も二重畳してあります。お座敷料は不要、時間制限もありません。配膳台を頼まれるか、ご自分で運んでちゃんと後片づけをお願いします。(配膳台を頼まれる方が多いです。) お飲み物は、御座さんから直接届けてもらいます。お弁当は、東横、一食、金

彈可、つるや弾可……など、他にお知り合いのお弁当でもどこでもかまいません。パンフレットはお寺にあります。引出物などもお寺に直接お送り下さい。お預り致します。

ホームページ開設のお知らせ

○妙心寺宗務本部 公式ホームページ

URL <http://mywebel.com/>

○龍雲寺

是非一度アクセスして下さい。
URL <http://www.ryushin-zenon.jp/>

お知らせ

方丈さんの慰勞会のお知らせ

この度、住職の細川新一師が十二年間の、妙心寺派宗務部長の職を全うされ平成二十一年五月二十五日に轉られました。最後の仕事である妙心寺開山六百〇年の正南大法会も去る十二月十二日の法要を以つて円成し、文學通り庵雲寺へ戻られました。就いては本年の勞をねぎらつて左記の通り慰勞会を開きたいと思ひます。

ご参加頂けます方は龍雲寺まで電話・Fax・お八分半等でご連絡下さい。詳しくはご案内状をお送り致します。

一、日時 平成二十二年二月七日(日)十八時

一、場所 シェアラトン都ホテル東京

一、会費 お一人様一万円(当日集金)

宗務部の都合上一月二十日までにご連絡下さい。

発行人代表 田中制定

普段着のお茶会

毎月第三水曜日 南無亭のお茶室、

会費は千円(お弁当代)お申し込みはTel・Faxで三日前迄にお知らせ下さい。

○直観物のお菓子と菓物で気楽なお茶会です。初詣、桜のお花見の茶会、七夕飾り等四季折々の楽しさを味わえます。遠征は四いません。萬平家の先生が来て下さいますので少しずつ指導していただけます。

編集後記

○新しい年を迎えられ皆様いかが、お過ごしですか？私は昨年函館をこくし喪中ですが、お寺の奥さんとしては龍雲寺のご本尊様にお供えのお餅を三十数年作つて来ましたので何年通りお餅つきをして二十対お作りしました(フ口紙の胸前です)。○鏡に写る自分の顔が悲しい顔をしていると、その顔が父や母の顔に似ていて胸が悲しんでいるように見えます。そんな私に、住職が細川の内仏に私の両眼のお位牌を作つてくれたのでいつもお参りしています。○長男の太輔は教師をしていますので自宅に小さな仏壇を求めて細川家とお嬢さんの実家のご先祖のお位牌を納めて毎日お参りしているようです。○次男の晋輔は妙心僧堂に九年目の修業に入ります。○父の佐原善

道は百一歳、母が九十歳でした。父は早く母をこくし顔も覚えていないので末娘の私が母親の命日に生まれましたので母親と同じ妻と名付けました。父は亡くなるまで私がする事を母親の代わりに私がしてくれていると言っていました。○二日半の入院でした。患部が「うー」と言いましたら父の目から涙がスーッと流れました。きつと私の声が聞こえたと思ひました。○西国や西国等の巡拝には何時も両腕の金剛杖を二本結んでお参りしていました。そのお杖と納経済みの白衣を必ずお箱に入れるように言われてました。○火葬になる時に最後まで沈香の香りで守つて欲しいと思ひ胸が亡くなった時に巡拝中も毎日私が身に付けていた沈香のお数珠の胸輪をはめました。○七月に函館をこくしした私に八月の五山の送り火の神は無理かと思ひました。引率の私が中止する所にも行かず実行しました。○十月の函館と十一月の西国巡礼は訪問の旅でした。○五年半通生さんで戻つてくれた現さんが、お寺が決まり十二月中旬で龍雲寺から離れます。○海校生の小原君、鹿崎君、大学生の加藤君、伊東さん、井上さん、後藤さん、娘の蘭子と貴子、太輔一家、晋輔、住職、私、山内一同、なんとかがやっています。今年もよろしくお願ひします。お元気で

田中